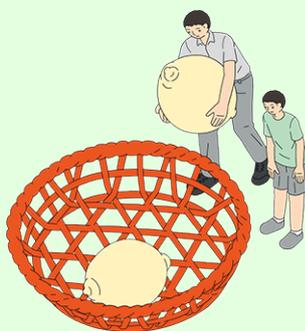


LIFE × DESIGN

18th Edition
by Tokyo International Gift Show



2025
WED 9.3. THU 4. FRI 5.



自分の好きと、私の良いなど
あなたにぴったりは違うけど
みんなとってもいい感じ

第18回 LIFE×DESIGN(9/3, 4, 5 開催)は シンカ(進化・深化・新化)します!!

LIFE×DESIGN は、「暮らし方から住まいをデザインする」をテーマに、プロダクト、インテリア小物、家具、ファッション、雑貨などを展示する、年2回(春・秋)開催の見本市です。小売り・コントラクト双方のための商談の場であり、毎回、新たなビジネスチャンスが生まれています。

第18回 LIFE×DESIGN(2025年9月3、4、5日開催)では、3つのデザイン関連エリアの強化と刷新を図りました。それがデザイナーズエリア「FOCAL POINT」、審査制エリア「ACTIVE DESIGN×CRAFT」、若手支援エリア「ACTIVE CREATORS」です。今後もさらにシンカ(進化・深化・新化)させていく予定です。

第18回 LIFE×DESIGN のテーマは、「自分の好きと、私の良いなど あなたにぴったりは違うけど みんなとってもいい感じ」。暮らしの“ウォンツ”を集めて、たくさんの「いい感じ」を提案します。

同時開催の姉妹見本市、東京インターナショナル・ギフト・ショーは、今回で100回というメモリアル回を迎えます。数あるなかでそれぞれの、もうひとつのシンカ(真価：真の価値)を見つけていただくことを願っています。新たにシンカしたLIFE×DESIGNをお楽しみください。

LIFE×DESIGN に出展する 3 つの魅力



2025年2月開催のLIFE×DESIGN会場の様子



1 商品やブランドの認知拡大

国内外から訪れる多くのバイヤーやメディア関係者の目に留まり、商品やブランドの認知拡大が期待できます。

※来場者数(東京インターナショナル・ギフト・ショーとLIFE×DESIGNの延べ人数)

2024年秋 221,478人、2025年春 224,401人

全国の雑貨・インテリア・セレクトショップ、ミュージアムショップ・美術館・博物館、建築・設計・不動産・工務店・デザイン事務所、ホテル・旅館・リゾートなど

2 ビジネスチャンスの創出

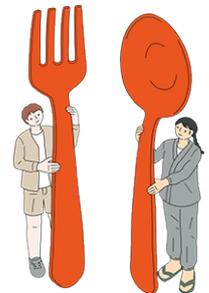
商品の受注獲得、新規顧客の開拓、デザイン依頼、新商品開発、プロトタイプの製品化の実現など、多方面にわたるビジネスチャンスの創出が見込まれます。

3 人的ネットワークの構築

来場者だけでなく、ほかの出展社やつくり手・デザイナーとも関係性を築くことができます。

※LIFE×DESIGNの出展社数(東京インターナショナル・ギフト・ショー)

2024年秋 461社(2,823社)、2025年春 710社(2,728社)



▶2024～2025年 LIFE×DESIGN 出展社の声

「MoMAの卸先と商談できた!大手の雑貨屋(地方にも複数店舗がある)や、本屋×雑貨屋と商談へつながった」(木とアクリルのアクセサリ・インテリア商品)、「ヨーロッパのセレクトショップでテストマーケティングを行なうことに」(和紙のインテリア商品)、「蔦屋さんとも商談!インテリアや地方の雑貨店。知らなかったところともつながれた!地方だと決定権をもつ人も多く、話も早く進んだ」(ベビーキッズ絵本と食器)、「大手フラワーマーケット、蔦屋家電、植物関係のバイヤーと商談。出展社さんともコラボの声があった」(アクセサリ)

第18回 LIFE×DESIGN 3つのシンカ(進化・深化・新化)

1 デザイナーズエリア「FOCAL POINT」は、進化します！

第17回(2025年春開催)からスタートした「FOCAL POINT」では、国内外で活躍するデザイナーやディレクターが自らブースに立ち、ブランドに込めた思いを伝えます。前回よりも展示ブースを増大し、内容の充実を図ります。出展者が看板を掲げて品々を広げ、来場者が独自の目利きで選ぶ、そんなコミュニケーションが飛び交う場「ショウテンガイ」を創造します。

※「FOCAL POINT」とは、「焦点・(話題や活動などの)中心」を意味します。



空間デザイン：DAYS 西尾 健史氏(左)

グラフィックデザイン：PAPIER LABO. 代表 江藤 公昭氏

2 審査制エリア「ACTIVE DESIGN×CRAFT」は、深化します！

「ACTIVE DESIGN」は、発想の力が生み出す量産可能なプロダクト、「ACTIVE CRAFT」は、手仕事の力が生み出す唯一無二のクラフト。この2種類の商品を展示し、商談する場「ACTIVE DESIGN×CRAFT」として展示内容の強化を図ります。「商品のデザイン性」「商品がもつストーリー」「ブースデザインを含めた世界観」という3つの審査基準のもと、気鋭ディレクター3名による選び抜かれた商品を展示します。

※約40年続いた「ACTIVE DESIGN & CRAFT FAIR」を、「ACTIVE DESIGN×CRAFT」と名称を変えて刷新を図ります。



「ACTIVE DESIGN×CRAFT」のディレクター

(左から)株式会社メソッド 代表取締役 山田 遊氏

RIDDLE DESIGN BANK 代表 塚本 太郎氏

有限会社セメントプロデュースデザイン 代表取締役社長／

クリエイティブディレクター 金谷 勉氏

3 若手支援エリア「ACTIVE CREATORS」は、新化します！

「ACTIVE CREATORS」は、“才能”あふれる若手クリエイター(つくり手)と、“思い”をもったバイヤー(売り手、伝え手)の想いをつなぐ商談の場として生まれ変わります。2名の新進ディレクターを迎え、「ACTIVE DESIGN×CRAFT」の3名のディレクターがアドバイザーとして審査を行い、これからますます活躍が期待される若手の作品を展示します。どこよりも早く、フレッシュな才能を見つけてください。



「ACTIVE CREATORS」のディレクター

Featured Projects 後藤 あゆみ氏(左)、相楽 園香氏



第18回 LIFE×DESIGN Talk Show / Seminar の3つの見どころ

9/3 「ものを見ること、選ぶこと」

Talk Show / 12:30-13:30

「MOGI Folk Art」は、20年以上前に北欧のデザインや民藝のものづくりに着目したテリー・エリス氏と北村恵子氏による、国内外のつくり手のもとに通い続けて培った審美眼の集大成ともいえるショップです。そのロゴを手がけ、「FOCAL POINT」のグラフィックを担当し、「紙にまつわるプロダクト」というコンセプトのショップ「PAPIER LABO.」を営む江藤公昭氏がふたりに話を聞きます。



Photo by Kosuke Ichikawa



Photo by Kosuke Ichikawa



(左から)

MOGI Folk Art テリー・エリス氏、北村 恵子氏
PAPIER LABO. 江藤 公昭氏、増崎 真帆氏

9/4 「リアルショップの在るべき姿」

Talk Show / 12:30-13:30

衣・食・住すべてにおいて、理想の暮らしを提案するライフスタイルショップ。モノとしてのインテリア提案だけでなく、住空間のプロデュース、ギャラリースペースでの提案、カフェ・レストランの運営など、リアルショップがもたらす体験価値は拡張しています。3人のディレクターが最新の事例をもち寄りながら、リアルショップの在るべき姿 = 客観的な理想形、在りたい姿 = 主観的な理想形について語り合います。



(左から)

ACTUS ブランドディレクター 大重 亨氏
IDÉE ディレクター 大島 忠智氏
(株)コンランショップ・ジャパン
代表取締役 CDO 中原 慎一郎氏
ファシリテーター デイリープレス 竹形 尚子氏

9/5 「若き才能が創造する 新たなデザインの世界」

Seminar / 14:30-15:30

ミラノ国際家具見本市内で開催されるサローネ・サテリテは、35歳以下のデザイナーを対象とする若手登竜門の展示会。そこで世界の舞台で活躍するチャンスをつかんだデザイナーが数多くいます。同展の創設者であり、キュレーターを務めるマルヴァ・グリフィン・ウィルシャー氏による、若手が創造する新たなデザインの世界について語っていただきます。



ミラノ・サローネ/サローネ・サテリテ 創設者・キュレーター
マルヴァ・グリフィン・ウィルシャー氏

そのほか、多彩な内容の Talk Show / Seminar を開催します

「ACTIVE DESIGN×CRAFT」のディレクター



株式会社メソッド 代表取締役、バイヤー
山田 遊

「スーベニアフロムトーキョー」「21_21 DESIGN SIGHT SHOP」などの監修や、国内外のイベントのプロデュース、デザインアワードの審査員など、多岐にわたる活動を行う。

第 18 回 LIFE×DESIGN から、私（バイヤー）と RIDDLE DESIGN BANK の塚本太朗さん（プロデューサー）、有限会社セメントプロデュースデザインの金谷勉さん（デザイナー）は、各々の専門的な立場から、「ACTIVE DESIGN×CRAFT」に出展する企業やメーカーの審査を担当します。

この 10 年ほどの時代の流れを振り返ると、「デザイン」と同じくらい、「クラフト」に対する人々の関心の高まりを感じます。「クラフトビール」「クラフトチョコレート」など、“クラフト”を冠した商品を目にする機会が増え、手仕事や手づくりの価値が見直されています。今回の「ACTIVE DESIGN×CRAFT」では、「デザイン（工業的な量産品）」と「クラフト（手仕事による少～中量生産品）」の категорияで商品を分類して展示構成を考えました。また、国内外から訪れる幅広い層の方々の求める声、“ウォンツ”に応えるべく、バリエーション豊かなラインナップを揃えました。これからさらに展示内容の質を高め、より深みのあるものへと進化させていくことを考えておりますので、ぜひご期待ください。

「ACTIVE CREATORS」のディレクター



株式会社 Featured Projects 共同代表
後藤 あゆみ

デザイナーやクリエイターを対象としたイベントや場づくり、キュレーション、プランニングを手がける。デザインスタジオ DCA Symphony にも所属し、カリモク家具「KARIMOKU RESEARCH」のプロモーションやプロジェクトマネジメントにも携わる。

私たちはものづくりが好きな人たちへの興味から、2022 年から Featured Projects の活動を始めました。クリエイターのみなさんにご参加いただき、これまで最大約 5,000 人規模のデザインイベントを開催してきました。その活動と並行して、今回から「ACTIVE CREATORS」のディレクターを務めさせていただきます。LIFE×DESIGN は、この出展を機に新しいビジネスが生まれたり、国内外へと活動が広がったりと、クリエイターにとって大きなチャンスの際になると感じています。

これから「ACTIVE CREATORS」への出展候補となるクリエイターを探す視点で街を歩くことが増えると思います。私たちと同世代、あるいは次世代のクリエイターのみなさんにも LIFE×DESIGN に関心をもっていただき、会場に足を運んでもらえるきっかけをつくっていただければと考えています。関係者の方々と意見を交換しながら、より魅力的なかたちをめざして、「ACTIVE CREATORS」の展示内容をアップデートしていきたいと考えています。

3 人のデザイナーによるアイテムを展示

SIWA | 紙和 / 「FOCAL POINT」

プロデューサー 古谷 愛



和紙の産地、山梨県で障子紙を製造している、大直という和紙メーカーです。日本の伝統文化である和紙を現代の暮らしで使っていただきたいという思いから、プロダクトデザイナーの深澤直人さんと一緒に、日常のなかで和紙を楽しめるライフスタイルブランド「SIWA | 紙和」を 2008 年に立ち上げて展開しています。

ここ数年かけて新たな開発に取り組んできた商品がいくつか揃ったので、今回 LIFE×DESIGN の「FOCAL POINT」への初出展を決めました。自社の展示だけでは集客できないような規模の、国内外の多彩な方と出会うことが一番の魅力でした。こだわりをもって選定したプロダクトを販売する全国各地のショップの方との出会いにも期待しています。

今回、「SIWA | 紙和」ブランドから、深澤さんの和紙のワイヤレス照明「A4 ライト」、ファッションブランドのミナ ペルホネンさんとの明るく楽しいデザインを配したコラボレーションアイテム、天然素材 100% でつくるプロダクトデザイナーの柴田文江さんによるバッグ「KOUZO」コレクションを展示します。多くの方と直接お話できることを、心より楽しみにしております。



深澤 直人氏と新作の照明「A4 ライト」。写真 / 山口 恵史



柴田 文江氏と、天然植物の繊維を伝統技術で漉き上げて制作したバッグ「KOUZO」。



Postalco×Karimoku が共創したモジュール家具

STAKKO / 「FOCAL POINT」

カリモク家具株式会社 事業開発部 小川 夏歩

「STAKKO」は、Postalco Design Studioさんとカリモク家具が共創した、モジュラーシステムの新しい家具シリーズです。このプロジェクトは、デザイナーのマイク・エーブルソンさんの「人生のステージやさまざまな空間に合わせて進化し、時とともに年を重ねる木製の家具をデザインできないか」という提案から始まりました。これは地球環境の未来を見据えた取り組みでもあります。ライフスタイルの変化に合わせて、木製ボックスを組み合わせることで多様な家具に変化するというコンセプトに大きな可能性を感じています。

今年 4 月から 8 月にかけて、東京・西麻布の KARIMOKU RESEARCH CENTER（カリモクリサーチセンター）で「STAKKO」の試作の展示を行い、来場者から多くの反響をいただきました。そして、ついに製品化が決定したので、正式なお披露目の場として LIFE×DESIGN の「FOCAL POINT」への出展を決めました。Postalco Design Studioさんのブランドは、アパレルやステーショナリーなど、独自の美意識と概念で展開されており、多くの方から支持を得ています。幅広い層が集まる「FOCAL POINT」の展示を通して、「STAKKO」の魅力をお伝えしたいと考えています。



Postalco Design Studio マイク・エーブルソン氏と「STAKKO」。

アナログなものづくりの魅力を伝えたい MITSUMARU DESIGN / 「FOCAL POINT」 三丸 拓也



僕は、プロダクトデザイナーの柴田文江さんの事務所や、インテリアブランドの WISE・WISE、無垢フローリングメーカー MARUHON での経験を経て、今年 3 月に独立して活動を始めました。今回の「FOCAL POINT」には、クライアントワークによる家具やプロダクト、オリジナルブランド「mmff(ムムフフ)」や「arve(アルヴェ)」を展示します。素材には、無垢の木材やスチール、昭和型板ガラスなどを使用しています。こうしたプリミティブな素材に触れたときのハッとする感覚や、素材のなかに宿る力強さを、プロダクトを通して感じていただけたらと思っています。

僕は手仕事の技術が光る、アナログなものづくりに魅力を感じています。そうした思いから、日本各地の中小企業の方々とつながりを持ち、ともに新しいものづくりに挑戦していけたらと考えています。LIFE×DESIGN は、まさにそういう方々と出会う場として大きな可能性を感じています。日本の中小企業は素晴らしい技術を有する一方で、「これから何をすべきか」と模索されている方も多いと思います。この展示での出会いを通じて、新たなヒントやコラボレーションのきっかけにつながればと思っています。会場では、お気軽にお声がけいただけたら嬉しいです。



(左から)クライアントワークの「BLOCKS / MARUHON」「bath toy / BAINCOUTURE」、3人のユニットによる昭和型板ガラスを用いて製作した「arve」。

ブランドの再認知と新規顧客の開拓をめざして ±0 (プラスマイナスゼロ) / 「ACTIVE DESIGN×CRAFT」 プラマイゼロ株式会社 製造部 久芳 広輔



±0 は、家電・雑貨のブランドであり、2003 年に最初の商品が発売されてから今年で 22 年を迎えます。コロナ禍の影響もあって、近年は展示会への出展の機会が減っていました。そこでブランドの魅力を改めて広く伝えることを目的に、LIFE×DESIGN への初出展を決めました。情報発信力のあるバイヤーや、感度の高い幅広い層が集まる見本市であることから、私たちのブランドの再認知と新規顧客の開拓にあたって絶好の機会になると感じています。

今回、2 つのテーマをもとに新作を含めた商品を展示します。ひとつはクリーナーやスチーマーなどの「掃除家電」、もうひとつは「テラス家電」で、室内外の境界が曖昧になってきている近年のライフスタイルに合わせたヒーターと扇風機を展示します。±0 をすでにご存知の方にも、初めて知るといふ若い世代の方にも、ぜひ実物を手に取ってご覧いただきたいと思っています。



【激落ちくん】コードレス電動ブラシ(左)と「テラスヒーター」。



Miyake Design デザイナー 三宅 一成

±0 は、「ちょうどいい」をコンセプトに、日々の暮らしに寄り添いながら、ちょっとした工夫や心地よさが感じられる、シンプルで使いやすい家電や雑貨を展開しています。今回発表する製品の一部と、展示ブースのデザインを私が手がけています。±0 が大切にしているコンセプトや世界観がより際立って来場者に伝わるように、真っ白な空間にカテゴリ別商品に商品を展開します。現在販売している約 30 種類の商品が並ぶ予定なので、見応えのある展示になると思います。

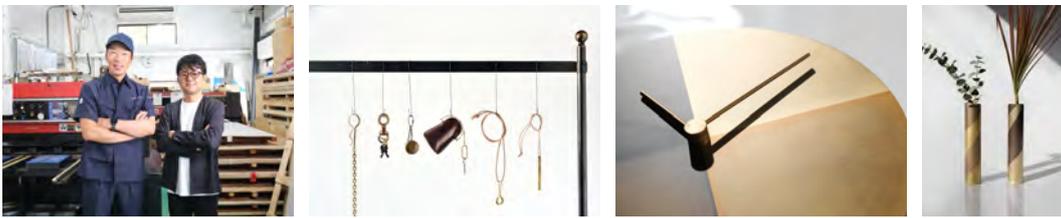
第 18 回 LIFE×DESIGN ▶▶▶ 出展社の声

ファクトリーブランドの強みを発信したい

TOKIBRASS / 「ACTIVE DESIGN×CRAFT」

株式会社富士産業 代表取締役 杉本 秀樹

富士産業は、金物制作や金属加工を手がける東京・葛飾区の会社です。今回の LIFE×DESIGN の「ACTIVE DESIGN×CRAFT」には、自社の技術力を生かして制作しているファッションアイテム「FUJIKINKO(フジキンコウ)」と、トムテの榎本清孝さんとタッグを組んで開発した真鍮製のプロダクト & 建材「TOKIBRASS(トキブラス)」という2つのブランド商品を展示します。私たちのような中小企業がオリジナルブランドをもつことで、OEM 企業に自社の“ものづくり”に対する姿勢が伝わるとともに、メーカーとしての信頼性が高まり、受注機会の拡大につながることを実感しています。今回の出展を通じて、多くの方にファクトリーブランドの魅力を伝えられたらと考えています。また、私たちのブランド商品は、量産品とは異なる一点ものの個性が特徴なので、素材の面白さ、奥深さを会場で実際に触れて感じていただけたらと思っています。



(左から)富士産業 杉本 秀樹氏とトムテ 榎本 清孝氏、ファッションアイテム「FUJIKINKO」、「TOKIBRASS」の時計とフラワーベース。

株式会社トムテ 代表取締役 アートディレクター 榎本 清孝

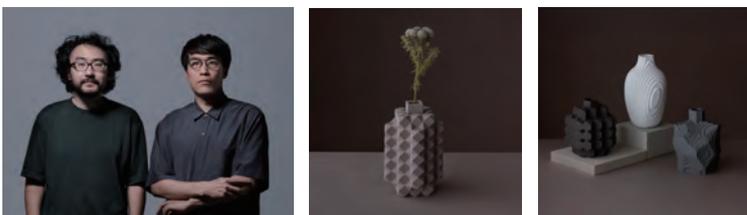
「TOKIBRASS」は、真鍮のエージング加工を駆使して「時」の変化を自在に表現し、その人の人生とともに歩んでいくライフパートナーブランドです。2023 年度東京ビジネスデザインアワードに向けて、富士産業さんと共創したブランド商品で、最優秀賞を受賞しました。今回の LIFE×DESIGN の「ACTIVE DESIGN×CRAFT」の展示で3種類の製品を発表します。デザイナーとメーカーが連携することで、メーカーのもつ技術や素材の魅力や可能性を引き出し、より大きな価値として社会に発信できると感じています。LIFE×DESIGN の展示を通して、デザイナーとメーカーの共創から生まれる「デザインの力」を広く伝えられたらと考えています。

会場で手に取って商品の魅力を感じてほしい

ComPotte / 「ACTIVE CREATORS」

DIGRAPH(深地 宏昌、堀川 淳一郎、横山 成美)

「ComPotte」は、デザイナー、プログラマー、陶芸家という異なる分野のメンバーが、それぞれの専門性をもち寄って生み出している陶磁器ブランドです。画像を見るだけでは、単に 3D プリンタで出力された商品のように思われがちですが、実際にはプログラミングでつくった 3D デザインを、3D プリンタで原型を出力して、石膏で型をとり、陶芸の鑄込み技法でつくるというプロセスを踏んでいます。その間には多くの手作業の行程が入っていて、一つひとつ丁寧に品質にこだわって少量生産で制作しています。LIFE×DESIGN には、僕らのように小規模ながら高品質なものづくりをしているメーカーが集い、国内外のバイヤーやショップオーナーなど多様な来場者に向けて発信できる場だと知って、出展を決めました。特に、独自の概念をもって商品を選定されている、目利きの店主のいるショップに興味を抱いています。「ComPotte」は、新しいテクノロジーと伝統的な技法の融合によって生まれる、独特の質感や温かみがある商品なので、ぜひ会場で手に取ってその魅力を感じていただきたいと思っています。また、出展社の方々と交流を図ることも楽しみにしています。



DIGRAPH(右・深地 宏昌氏、左・堀川 淳一郎氏)と「ComPotte」。Voxel, Layer, Polygon の3種類の花器がある。

人生の出来事を凝縮したワッペンブランド HAVE A GOOD DAY / 「ACTIVE CREATORS」 グラフィックデザイナー 山川 鎌



デザイン会社の DRAFT を経て、昨年独立してフリーランスのグラフィックデザイナー・イラストレーターとして活動しています。5 年ほど前から、セルフプロダクトのワッペンダイアリーのブランド「HAVE A GOOD DAY」を展開しています。自分自身の日々の生活の出来事をもとにデザインしていて、これまでに 40 個ほどつくりました。パッケージに書かれたエピソードを読んで楽しんでいただき、私という人間性や価値観が伝わるものになればという思いがあります。

今回の LIFE×DESIGN の「ACTIVE CREATORS」への出展目的は、3 つあります。ひとつは、この商品の魅力をより多くの方に知っていただくこと。もうひとつは、自身のデザイナーとしての表現力やスキルを発信すること。そして、制作は鹿児島にあるアート刺繍という会社に依頼しているのですが、刺繍やワッペンの市場はあまり大きくありません。そこで 3 つ目の出展目的として、このブランド商品を見て自分もワッペンをつくってみたいと思う企業やクリエイターが増えるなど、刺繍・ワッペン市場に何か貢献できるきっかけにつながればという思いがあります。会場で、多くの方とお話できるのを楽しみにしております。



「HAVE A GOOD DAY」



アジア No.1 のデザイン見本市をめざして

株式会社ビジネスガイド社 LIFE×DESIGN
クリエイティブディレクター 正田 琢磨



私は 2005 年よりビジネスガイド社にて、東京インターナショナル・ギフト・ショーのデザイン、インテリア関連フェアを担当し、「ACTIVE CREATORS」の立ち上げを担いました。その後 2013 年から 2019 年の 7 年間は某インテリア見本市の特別企画ディレクションに携わりました。その後は、まちづくりやブランディング支援の分野で活動し、2024 年夏、12 年ぶりにビジネスガイド社へ復帰。現在は LIFE×DESIGN のクリエイティブディレクターとして企画・運営に取り組んでおります。

ギフト・ショー 100 回記念回でもある今回、第 18 回目となる LIFE×DESIGN では、内容を大きく見直し、よりいっそうの充実を図りました。国内外で活躍されているクリエイター自身のブースや、最新のデザインプロジェクトのローンチなど、魅力的で実力ある多くの出展者のみなさまにご参加いただいております。私たちはこの LIFE×DESIGN を、アジア No.1 のデザイン見本市へと成長させていくことをめざしています。デザインの発表会のみにと終わらずに、ビジネスのための交流・商談の場として、世界に誇れるものにしていきたいと考えています。

メディア関係者のみなさまには、ぜひ見本市および出展クリエイター、メーカーの取材をご検討いただけますと幸いです。クリエイターやメーカーへの直接のご連絡・取材も歓迎しております。ご不明な点やご質問などございましたら、下記までご連絡ください。また、会期中、私は毎日会場におりますので、ぜひお気軽にお声がけいただければと思います。

展示概要

第 18 回 LIFE×DESIGN

会期：2025 年 9 月 3 日(水)、4 日(木)、5 日(金)

時間：10:00~18:00(受付開始 9:00 から 最終日は 17:00 まで)

場所：東京ビッグサイト西展示棟 西 1・3・4 ホール+アトリウム

主催：株式会社ビジネスガイド社

※トレードショーのため、一般の方ならびに 12 歳以下のご入場はお断りいたします。



本プレスリリースに関するお問い合わせ先
株式会社ビジネスガイド社 LIFE×DESIGN 事務局
〒111-0034 東京都台東区雷門 2-6-2 ぎふとビル
<https://www.giftshow.co.jp/tigs/life18/>

見本市に関するお問い合わせ： lifedesign@giftshow.co.jp
取材・掲載のお問い合わせ： 担当：正田 t-shoda@businessguide-sha.co.jp